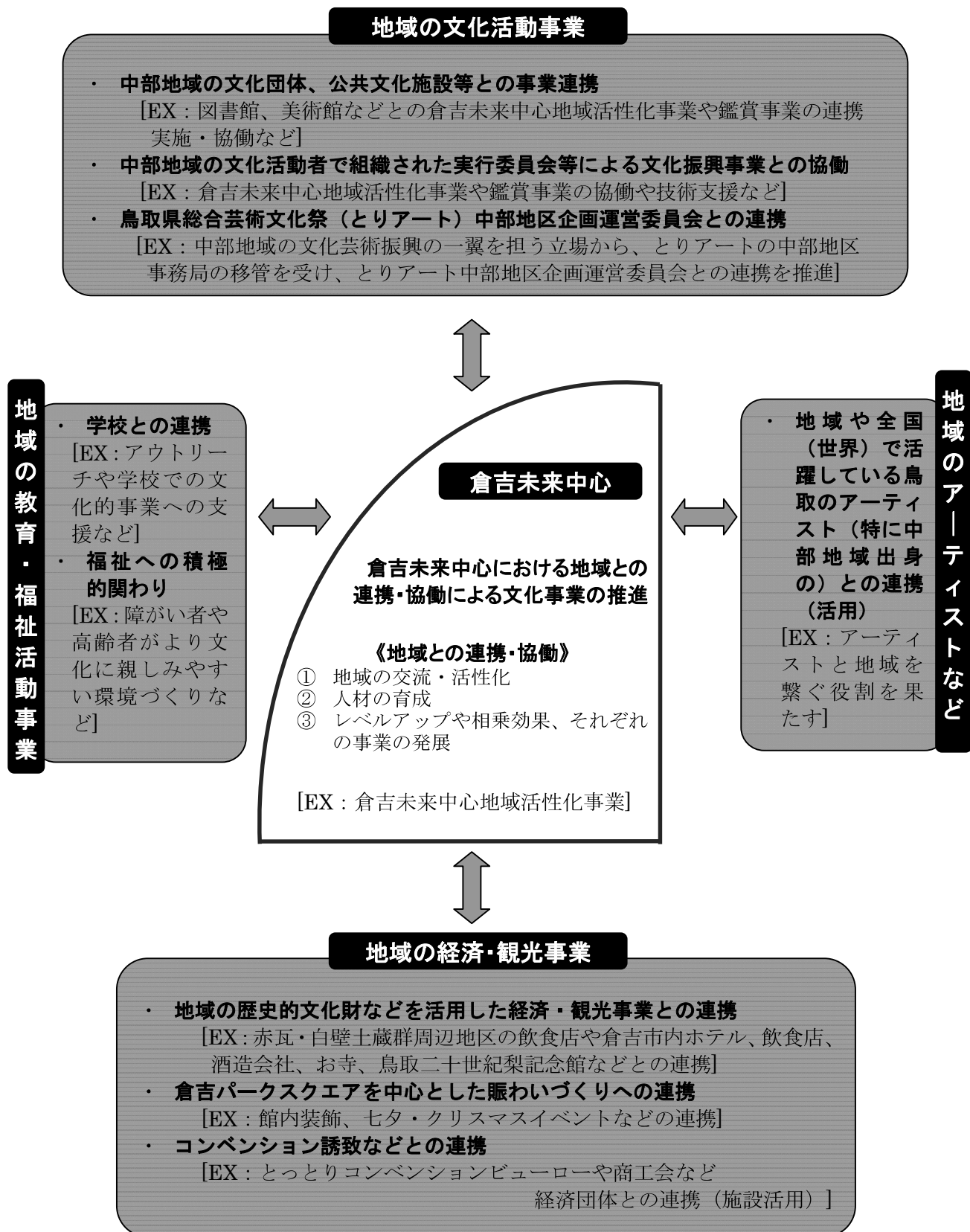


(4) 地域との連携に係る考え方と取組(周辺施設や地域の事業者、各種団体と連携した取組)

ア 倉吉未来中心と地域との連携・協働[イメージ]

倉吉未来中心は、平成26年度以降も地域との連携・協働を積極的に推進することとしています。そのイメージは次のとおりです。



イ 中部地域の文化団体及び施設を利用するその他団体との連携方針

倉吉未来中心は「人と人の交流を促進し、地域の活性化を図る」という設置目的、そして「中部地域の芸術文化拠点施設」という施設の性格から、中部地域の文化団体及び施設を利用するその他の団体や個人との連携は、その目的を達成するために倉吉未来中心の重要な使命であると考えています。

連携・協働の方針として、先に掲げた施設運営の4つの柱、①『公平・公正な管理運営』、②『地域に根ざした文化の創造』、③『多彩な人材育成』、④『各種文化事業の推進』を基本に、中部地域の文化活動者や団体等と連携し、地域とともに推進する施設運営を図ります。

そして、「地域との連携・協働」をさらに図り、人と人の交流がさらに促進され、中部地域の活性化と豊かな郷土づくりに貢献します。



地域との連携・協働に対するポイント

1 地域の交流・活性化

- (1) 住民が主体的に実施する文化・芸術活動に「利用しやすい場の提供」や、地域の文化芸術団体等と連携することで住民の文化・芸術活動を活性化します。
- (2) 倉吉パークスクエア、中部地域文化施設と連携・協働し、地域の交流を促進します。
- (3) 中部地域で活動する様々な文化団体等の情報の収集や発信を行うことにより、文化芸術による地域情報の共有化を図ります。
- (4) 文化芸術を通じた各種団体（経済、観光、教育、福祉等）及び中部地区1市4町との連携により、地域の活性化を図ります。

2 人材の育成

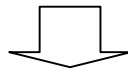
- (1) 協働推進者である文化活動者などが、倉吉未来中心と連携することにより得たノウハウや技術を自己や地域の活動でも発揮できるよう支援を行い、人材の育成を図ります。
- (2) 中部地域の文化団体、学校などと連携して、舞台技術に関するニーズを把握し、ニーズに沿った研修を行い、地域や次代を担う人材の育成を図ります。

3 連携・協働による効果（レベルアップ、相乗効果、発展）

- (1) 連携することにより、特に若い文化活動者のレベルアップが図られ、熟練者との交流が促進され、個人や団体、地域の活性化に繋がります。
- (2) 中部地域の市町又はこれらが協賛等で主体的に関与する実行委員会などが行う文化芸術施策としての事業に対し、利用申込期間外であってもホールの確保を行ない、安定した施設利用ができることにより中部地域の文化振興が図れます。
- (3) 施設利用の文化団体や利用者に対して、利用者の文化芸術事業がより円滑に、またより上質の催事となるよう、財団及び倉吉未来中心のノウハウや舞台技術の提供が積極的に行えます。
- (4) 国民文化祭から引き継がれた鳥取県総合芸術文化祭の中部地区事務局業務の県からの移管（平成22年度～）を契機として、中部地区企画運営委員会との連携を密にし、とりアートを通じた中部地域の文化振興が継続的に図れます。

【地域との連携・協働の状況】

- ・ 中部地域の文化団体、実行委員会との連携・協働、技術支援（倉吉未来中心地域活性化事業、財団鑑賞事業等）
- ・ 中部1市4町との連携：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町の広報誌への掲載及び人的サポート（とりアート、倉吉未来中心10周年記念事業、財団鑑賞事業）
- ・ 教育機関との連携：鳥取短期大学、鳥取県立保育専門学院、中部地区小・中学校、保育園等の学生、生徒、園児の参加（倉吉未来中心地域活性化事業、とりアート等）



地域との連携・協働により目指すもの

地域との連携・協働を積極的に展開することで、文化活動を通じた人の交流と地域の活性化を促進し、心豊かで潤いと活力に満ちた中部地域の発展に貢献します。

平成26年度からの「地域との連携・協働」の取組

○地域住民との連携・協働

- 地域住民の声を反映させた施設運営や倉吉未来中心地域活性化事業、鑑賞事業への参画
 - ・ 倉吉未来中心運営懇談会（仮称）
 - ・ 地域活性化事業のプロデュース、アートマネジメントを担う人材育成
 - ・ 鑑賞事業の企画提案 など

○文化芸術団体との連携・協働

- 文化団体等との協働による事業立案・運営、事業協力
 - ・ Mecha しぶ ナイト倶楽部、協働企画コンサート、郷土芸能事業、鑑賞事業等

○倉吉パークスクエア、中部地域文化施設等との連携・協働

- 施設間の連携による情報発信や合同企画の実施
 - ・ 鳥取二十世紀梨記念館、文化施設、図書館、美術館等との事業共催
 - ・ ニュースレターの発行
 - ・ 倉吉パークスクエア内飲食店と連携した割引サービスの実施
 - ・ 図書館と連携した鑑賞事業のチケット代金割引 など

○文化芸術情報の連携

- 中部地域の文化団体の紹介、図書館との合同企画の実施、鳥取短期大学との事業連携、情報の収集・提供
 - ・ 文化団体の情報コーナーの設置、各団体のホームページへのリンク
 - ・ 図書館と連携した鑑賞事業の関連図書（ジャンルの歴史、アーティスト等）の紹介
 - ・ 鳥取短期大学の学生による倉吉未来中心地域活性化事業の印刷物デザイン
 - ・ 中部地域の旅館、ホテルの宿泊客が参加できる倉吉パークスクエアでの事業開催情報の提供 など

○地域の各種団体との連携・協働

- 倉吉未来中心地域活性化事業等を通じた各種団体（観光・経済・教育・福祉）とのコラボ企画の実施
 - ・ 白壁土蔵群・赤瓦周辺地区の商店や中部地域の飲食店・ホテル等と連携した割引サービスの実施
 - ・ 各種団体とのネットワークの形成（営業活動を通じた人脈づくり）
 - ・ 病院や福祉施設等でサロンコンサートの実施 など

○中部地域自治体（1市4町）との連携・協働

- 1市4町との合同企画の実施
 - ・ 倉吉未来中心地域活性化事業「みらい音楽堂」において、1市4町のいずれかと連携して町をPR（郷土芸能、アーティスト、特産品等の紹介、実演、販売）するための事業実施 など

ウ 倉吉パークスクエア内各施設との連携方針

文化・観光・産業・娯楽機能を中心とした様々な施設を整備し、「人・もの・情報」の行き交う文化交流ゾーンとして、平成13年に倉吉パークスクエアは設置されました。パークスクエアは倉吉未来中心のほか、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター3つの県立施設と、倉吉市の管理する倉吉交流プラザ（倉吉市立図書館）、倉吉市営温水プール、食彩館が一つになって、複合施設としてのパークスクエアを形成しています。

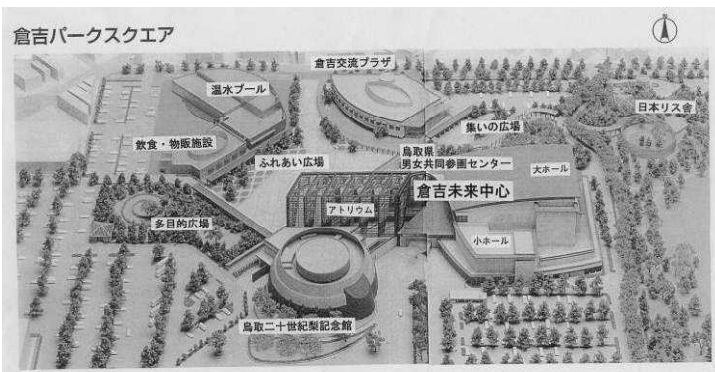
それぞれの施設の管理運営主体者は異なるものの、利用者や来館者にとってすべての施設が“倉吉パークスクエア”であり、それらの情報が共有されてこそ、そこを訪れる人たちが快適で安全に利用することができるものと認識しています。

これら施設を運営する上で重要な、①来館者へのサービス、②施設設備の維持管理、③省エネルギーへの取組、④事故・事件の防止や緊急時の対応、⑤各施設の催物等の状況について、情報を共有し、運営を推進する中でさまざまな連携を図っています。

平成26年度以降も下記の平成25年度までに取り組んできた事項を継続するとともに、公立4施設（倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、倉吉市立図書館）が共同で情報を発信するパークスクエア通信の発行や事業の連携・協働（合同企画）などを継続・強化しながら、パークスクエアの施設が一体となった施設管理と運営を行なって、中部地域の活性化と、より快適で安全な利用者・来館者へのサービスの提供を図ります。

倉吉パークスクエア内各施設との連携《平成25年度までに取り組んできた事項》

- ・ 毎月1回の倉吉パークスクエア会議の開催・・・公立4施設の施設長及び幹部による連絡会議の開催
- ・ 除雪の実施・・・降雪時、出入口等の除雪を実施
- ・ 催物情報の共有化・・・全施設について月ごとの催物情報の提供と、倉吉未来中心及び交流プラザについては毎日の催物情報の提供
- ・ 合同危機管理講習会の開催・・・倉吉警察防犯指導課指導員による講習会の開催
- ・ 合同防災訓練の実施・・・倉吉パークスクエア内の施設との合同防災訓練の実施（年2回）
- ・ 普通救命講習会の開催・・・鳥取中部ふるさと広域連合（倉吉消防署）指導員による自動体外式除細動器（AED）の取扱を含めた救命講習会の実施（年1回）
- ・ 合同人権研修の開催・・・性同一障がい者講師による研修会の開催
- ・ ユニバーサル研修の開催・・・障がい者、高齢者、妊婦の疑似体験
- ・ 倉吉パークスクエア・イルミネーション・・・クリスマスシーズン、倉吉未来中心の「倉吉未来中心地域活性化事業」と“ふれあい広場”を中心とした倉吉市管理施設のイルミネーション点灯の連携事業
- ・ 事業の共催・・・①鳥取二十世紀梨記念館（なしっこ館）と共催して、「倉吉未来中心地域活性化事業 みらい音楽堂 vol.9 及び vol.13、vol.16」をなしっこ館において実施、②倉吉市立図書館と連携して、ジャズ公演と関連図書のPR（ジャズ関連の図書コーナーの設置、図書館所蔵のジャズ関連図書の周知、アフター事業公演の際の出前図書貸し出し）



【梨記念館との共催公演】

(5) サービスの向上策と利用促進に向けた取組

【施設利用における取組】

ア 大ホール割引プランの設定

利用者の要望を踏まえて県内の文化芸術活動を推進するとともに、大ホールの利用促進を図るため、次のとおり施設利用料を割引するプランを設定します。

- (ア) 鳥取県内の利用者が文化芸術活動目的に限り大ホール利用日の2ヶ月前を経過後に大ホールの舞台上のみを練習利用する場合（舞台設備、備品の有料での使用も可）【新規】
 該当する場合には、別冊別表1の施設利用料の4分の1（10円未満切り捨て）に減額します。

大ホール利用料（舞台設備、備品代は含まず）

（単位：円）

区分	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (18:00～22:00)	1日 (9:00～22:00)
大ホール	6,110	12,220	15,280	30,560

（備考）

施設を午前(9:00～12:00)から引き続き午後(13:00～17:00)において利用する場合における12:00～13:00までの間の利用に係る延長利用料及び午後(13:00～17:00)から引き続き夜間(18:00～22:00)において利用する場合における17:00～18:00までの間の利用に係る延長利用料は徴収しません。

- (イ) 大ホールを4月および5月の平日（金曜日を除く）に利用する場合（1階席のみの利用も設定）
【継続】

該当する場合には、別冊別表1の施設利用料の5分の4（10円未満切り捨て）に減額します。

大ホール利用料(全席利用料金)

（単位：円）

区分	入場料の最高額	午前	午後	夜間	1日
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
平日 月～ 木	無料～1,000円	19,560	39,120	48,890	97,800
	1,001円～3,000円	25,420	50,850	63,560	127,130
	3,001円～5,000円	31,290	62,590	78,240	156,480
	5,001円～	39,120	78,240	97,800	195,600

大ホール利用料(1階席のみ利用料金)

（単位：円）

区分	入場料の最高額	午前	午後	夜間	1日
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
平日 月～ 木	無料～1,000円	11,730	23,470	29,330	58,680
	1,001円～3,000円	15,240	30,510	38,130	76,280
	3,001円～5,000円	18,770	37,550	46,940	93,880
	5,001円～	23,470	46,940	58,680	117,360

Information
倉吉未来中心 施設利用のご案内

お得で便利なサービス満載！



大ホールの利用料がお得です

■4月及5月平日割引
 4月～5月平日の18時～22時利用に限り、利用料を半額に引き下げます。
 ※延長利用料、延長料金は別途です。

■舞台上のみを利用した練習割引
 文化芸術目的に限り、大ホール利用日の1ヶ月前を経過後に大ホールの舞台上のみを利用する場合は、施設利用料を半額に引き下げます。
 ※延長料、設備・備品代は別途です。
 ※延長料金は別途です。

文化芸術団体減免制度により利用料が半額
 鳥取県内の文化芸術団体の文化芸術活動の振興（普及）のために利用しようとする場合は、利用料を半額に引き下げます。
 ※延長料、設備・備品代は別途です。

ホール利用の抽選申込み制度
 ホールを文化芸術活動のために利用しようとする場合は、抽選による申込み期間より1ヶ月前にお申込みできます。
 ※抽選結果は申込み期間より1ヶ月前の月曜日からご発表。

お得なホール・練習室の割引制度

文化芸術活動のために、リハーサル室・練習室をご利用の際は、練習室の利用料を半額に引き下げます。
 ※延長料金は別途です。

ホール楽屋を文化活動にご利用いただけます

文化活動を目的に利用する場合は、リハーサル室・練習室のほかにホール楽屋もご利用いただけます。
 ※延長料金は別途です。申し込みは別途です。
 ※申し込み期間：ホールの申込み受付期間終了後（ご発表日の9日前まで）

全国大会等を含えた県大会は早期にご予約を受け付けます

全国的に有名な文化芸術活動の全国大会等を含めた、鳥取県大会を含めた場合は、抽選申込み期間より早期に申込みを受け付けます。
 ※その後、鳥取県内以上の大会のご案内も同様。

【利用促進用チラシ】

大ホール延長・時間外利用料(全席利用料金)

(単位：円)

区分	入場料の最高額	延長利用料		時間外利用料	
		12:00～13:00	17:00～18:00	22:00～8:00 (1時間ごと)	8:00～9:00
平日 月 ～ 木	無料～1,000円	7,820	11,730	14,660	7,820
	1,001円～3,000円	10,160	15,250	19,060	10,160
	3,001円～5,000円	12,510	18,770	23,470	12,510
	5,001円～	15,640	23,470	29,330	15,640

大ホール延長・時間外利用料(1階席のみ利用料金)

(単位：円)

区分	入場料の最高額	延長利用料		時間外利用料	
		12:00～13:00	17:00～18:00	22:00～8:00 (1時間ごと)	8:00～9:00
平日 月 ～ 木	無料～1,000円	4,680	7,040	8,800	4,680
	1,001円～3,000円	6,090	9,150	11,440	6,090
	3,001円～5,000円	7,500	11,260	14,080	7,500
	5,001円～	9,380	14,080	17,600	9,380

イ 営業活動

開館以来、営業・広報等による利用促進活動により新規顧客の開拓や継続的な利用に繋がっていますが、利用率の低い時期、年度などもあるため、館長以下職員が、県外プロモーターや県内企業等を訪問して利用促進プラン等をPRするなど、**積極的に営業活動**を行っています。今後も継続的に利用促進を図るとともに、マスコミ等へ倉吉未来中心での鑑賞事業の共催を働きかけるなど新たな取り組みも行います。

また、県の中央に位置するという地理的な利点を活かし、県内全域を対象とした催しの招致などを行政、文化団体、学校等へ働きかけて利用促進に繋がります。

さらに、倉吉未来中心が行う様々な文化事業への参加や施設の利用形態等を提案し、**倉吉未来中心の顧客開拓**に継続して努めます。

《営業活動実績》

- ・ 県内マスコミ、県外大手プロモーターへの営業活動（岡山、広島等）
- ・ 利用実績のある県内企業・文化団体・行政・学校等への営業活動
- ・ ホール利用者へ利用後にお礼状を発送し、今後の継続利用を案内
- ・ 中部地区中学校・高校へ吹奏楽コンクールに向けた練習会場として大ホール練習プランを案内
- ・ 繁忙期で抽選に漏れた団体に空き日の紹介
- ・ 利用請求書発送時に倉吉未来中心で行われる主催事業チラシ同封によるチケット販売促進
- ・ 文化団体、旅館組合、商工会議所、学校、行政との連携
- ・ とっとりコンベンションビューロー、鳥取県立県民文化会館との連携

ウ 広報活動

(ア) 施設の最新情報をホームページや鳥取県文化振興財団情報誌「アルテ」に掲載するとともに、利用者への案内、訪問等を行って広報活動します。

ホームページはその機能をフルに活用し、利用者懇談会の概要報告及び館内を季節感が感じられる装飾の状況等、最新の情報を絶えず発信しています。加えて、ホームページ内に「倉吉未来中心からのお知らせ」コーナーを開設し、備品の更新などの情報を発信しました。

また、平成25年度からは鳥取短期大学と協働し、学生と「倉吉未来中心地域活性化事業」のチラシを作成しました。財団主催の鑑賞公演においては、倉吉市立図書館と協働で「公演図書館関連コーナー」を設置し、図書館と倉吉未来中心による**新たな取り組みを実践**し、情報を発信しています。

今後も最新情報や新たな取組を発信し、継続的な施設利用に繋がるよう広報に努めます。

【情報発信の内容】（平成21～25年度）

- ・各種制度、設備・備品の充実、更新等の案内
- ・年2回開催の利用者懇談会の概要報告
- ・こいのぼり、七夕、クリスマス、バレンタインデーの館内装飾の様子
- ・利用者の声や駐車場混雑状況等施設に係る最新情報
- ・インフォメーションディスプレイ（本日の催し案内表示）の1台増設
- ・「倉吉未来中心地域活性化事業」、財団主催事業の情報

(イ) 鳥取県文化振興財団情報誌「アルテ」〈ご利用のかわら版〉により、様々な利用提案を案内しました。引き続き、鳥取県民文化会館と連携しながら、効果的な広報活動を展開します。



【「アルテ」〈ご利用のかわら版〉】

(ウ) 季節を感じられる装飾を施したアトリウムでミニコンサートを開催する際に、各種イベントのPRを行います。

(エ) ポスター掲示コーナーの改装や、アトリウム情報コーナーに休憩スペースとしてテーブル・イスを設置するなど、来館者が**様々な情報交換のできる空間づくり**をします。

エ 倉吉未来中心地域活性化事業の実施

倉吉未来中心の利用促進を図るため、様々な取り組みを行っています。平成26年度からの第3期指定管理に向けても施設をより身近に感じていただき、より多くの方に利用していただけるよう倉吉未来中心地域活性化事業を実施し、施設の利用促進に繋がります。

オ 倉吉パークスクエア全体での取組

倉吉パークスクエアの中核施設としてリーダーシップを取りつつ、各施設との積極的な連携を図って、賑わいを創出し、利用促進に繋がります。

カ 接遇の向上

サービス向上のためには、職員の接遇意識・技術の向上は不可欠であるとの考えから、随時指導を行い、サービスの向上を図ります。新入職員については、都度、外部接遇研修に参加させています。また、職員の接遇に対する利用者の声には速やかに対処し、職員の意識改革を行います。

これまでの研修実績	ビジネスマナー講師による接遇研修（平成22年度）
	新入職員向けの外部接遇研修（平成23～25年度）
	若手社員セミナー（平成25年度）

キ 人権研修の実施

職員の人権意識を高めるために専門講師を招聘して人権研修を毎年実施し、明るく働きやすい職場づくりを推進するとともに、利用者の立場に立った気配りのある対応へ繋がります。

ク 地域や来館者への情報発信

アトリウムを利用し、文化芸術的な催物だけではなく、各種イベント情報、周辺地域の観光情報、チケット取扱情報など地域の皆様への情報を提供します。併せて倉吉未来中心に関する情報だけではなく、近隣施設、周辺地域を案内します。

項目	サービス内容
パンフレットスタンドの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地のコンサートやイベントのパンフレットを設置。 ・周辺市町の発行する市報、町報の設置及び県政だよりを設置。 ・周辺観光案内図、観光施設のパンフレットを設置。
ポスター掲示	倉吉未来中心の催しや県内外の文化芸術的催事のポスターを掲示。
倉吉パークスクエアイベント情報	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉パークスクエア内各施設のイベント情報をパネルに掲示。 ・倉吉交流プラザの発行するイベント情報のチラシを設置。
プレイガイド機能の充実	プレイガイド機能を充実させ、倉吉未来中心や他施設でのコンサートやイベントチケットの取り扱い。
公共交通機関の案内	J R、バスの時刻表、及び最寄りのバス停の地図を設置。
ホームページの充実	利用案内、イベント情報、チケット情報、設備・備品の更新など、様々な情報を充実させて提供。
情報コーナーの改装	「とりアート中部地区事業」や「倉吉未来中心地域活性化事業」、中部地域の文化活動団体のPRコーナーとしてリニューアル。
関連図書コーナーの設置	倉吉市立図書館と連携して、鑑賞事業の公演日まで図書館内に関連図書等のコーナーを設置。
催し案内モニターの一般利用	アトリウム設置のマルチビジョンを一般利用者に貸し出し、地域の情報を発信。



【イベント・観光情報】



【ポスター掲示コーナー】



【チケット取扱情報】



【関連図書コーナー】